

公益財団法人 仁科記念財団
平成 23 年度 事業報告書

平成 23 年 4 月 1 日付けで公益財団法人に移行した仁科記念財団の公益目的事業は、定款第 4 条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において (1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与 (2) 内外著名研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催 (3) 歴史的資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営 (4) 知識および思想の普及啓発のための出版物刊行などの活動 (5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成である。

平成 23 年度は、以下の公益目的事業を行った。

1. 仁科記念賞

仁科記念賞は、広い意味での原子物理学およびその応用に関して顕著な業績をあげた比較的若い研究者に授けられる賞で、当財団創設の 1955 年以来、毎年数名の将来性豊かな研究者に授与されてきた。これまでの受賞者の総数は 165 名となり、その中からは、ノーベル物理学賞受賞者 4 名、文化勲章受章者・文化功労者 17 名、恩賜賞・日本学士院賞受賞者 26 名をはじめ、国内外で著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。

仁科記念賞規程では、① 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、日本化学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し ② 授賞件数は 3 件以内 ③ 選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当たり 500 千円の副賞を授ける ④ 選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表 ⑤ 授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日に、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員の参加する研究交流の場で行うこととしている。

平成 23 年度はこの規程に則り、選考が行われた。第 57 回となった今回は、選考委員会において今年度推薦のあった 12 件の候補者に加え昨年度からの繰り越し候補者 2 件についても慎重に選考された結果、次の 2 件に授与することとした。授賞式は平成 23 年 12 月 6 日 (火) に執り行われた。

・受賞者：秋葉康之 (理化学研究所仁科加速器研究センター・理研 BNL 研究センター実験研究グループリーダー)

研究題目：衝突型重イオン反応の諸研究、特にレプトン対生成による高温相の検証

・受賞者：藤澤彰英 (九州大学応用力学研究所教授)

居田克巳 (核融合科学研究所教授)

研究題目：高温プラズマにおける自発電磁場の実験的検証

2. 仁科記念講演会

仁科記念講演会は、当財団創立以来の重要な事業で、社会に原子物理学の真髄を啓発するため、50年以上にわたって一般の参加を得て開催されてきている。

今年度は、超伝導と原子核の発見 100 周年に因んだ第 57 回仁科記念講演会と仁科芳雄博士にルーツを同じくする当財団、日本アイソトープ協会、理化学研究所仁科加速器研究センター主催の第 2 回仁科記念シンポジウム「アイソトープ科学の最前線」が開催された。

○第 57 回定例仁科記念講演

日 時：2011 年 11 月 30 日（水）16:30 ～ 18:30

場 所：東北大学理学研究科大講義棟

主 催：仁科記念財団

共 催：東北大学理学研究科

挨 拶：小林 誠（仁科記念財団理事長）

挨 拶：福村裕史（東北大学理学研究科長）

講 師：前野悦輝（京都大学大学院理学研究科教授）

題 目：「超伝導発見から 100 年」

講 師：橋本 治（東北大学大学院理学研究科教授）

題 目：「「奇妙」な原子核」

参加者：約 150 名

講演録が NKZ シリーズとして刊行される予定。

○第 2 回仁科記念シンポジウム「アイソトープ科学の最前線」

—原子力と仁科博士—

日 時：2012 年 3 月 23 日（金）14:00 ～ 17:00

場 所：科学技術館サイエンスホール（北の丸公園）

主 催：仁科記念財団、日本アイソトープ協会、理研仁科センター

挨 拶：小林 誠（仁科記念財団理事長）

講 師：江沢 洋（学習院大学名誉教授）

題 目：「仁科芳雄博士と日本の核開発の端緒」

講 師：井戸達雄（日本アイソトープ協会常務理事）

題 目：「アイソトープの医学利用：Mo-99 問題など」

講 師：初田哲男（理研仁科センター主任研究員）

題 目：「素粒子・原子核から宇宙へ：スーパーコンピュータと現代物理学」

挨 拶：田畑米穂（日本アイソトープ協会副会長）

(司会) 矢野安重 (仁科記念財団常務理事)

参加者：85名

講演録は財団、協会、理研のホームページで公開予定。

3. 仁科記念室

(1) 資料の提供

- ・東京新聞が2011年11月4日のコラム「ゆめぼっけ」で仁科記念室の写真を掲載。
- ・テレビ朝日で12月26日「ヒバクコク～切り捨てられた残留放射能」が放映された。(仁科博士の写真を提供)

(2) 見学者

- ・団体の見学：岡山県里庄町中学生(9名)他
日時：2011年7月27日(水)午後1時～3時
見学会名：「仁科芳雄博士の足跡を訪ねて」
主催者：里庄中学校、科学振興仁科財団、里庄町
目的：仁科博士の出身地の岡山県里庄町で選抜された中学生を対象にした「仁科博士の足跡をたどる国内・海外研修の旅」の一環
見学施設：仁科記念室、サイクロトロンモニュメント
説明者：矢野常務理事
- ・個人の見学：岡崎よしあき文京区議会議員他約90名

(3) 資料の整理

- ・仁科記念室に保存されていた16mmフィルム「映画“ニールス・ボーア”」をDVD化した。

4. 研究関連等の出版

- ・仁科記念財団案内(2011年7月)
- ・NKZ-53「高い T_c を持つ新しい超伝導体を求めて」秋光 純(青山学院大学教授)(2011年5月)
- ・中根良平・仁科雄一郎・仁科浩二郎・矢崎祐二・江沢 洋 編「仁科芳雄往復書簡集 補巻」みすず書房(2011年11月)

5. 研究者の海外派遣・招聘

- ・財源上の理由で2011年度は研究者の海外派遣・招聘事業は行わないことし、周知のため財団ホームページに「諸般の事情により、2010年度から数年間、研究者の海外派遣・招聘ともに公募を見送ることにいたしました。あしからずご了承ください。」と掲示した。

- ・一方、アジア諸国の優秀な若手研究者を励ますための「Nishina Asia Award または Lecture」の創設に向けて検討した。

6. 会議の開催

平成 23 年度に開催した評議員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。開催場所はすべて日本アイソトープ協会第 3 会議室。

(1) 評議員会

1) 第 1 回 (定時)

日時：平成 23 年 5 月 30 日 12:40~13:30

出席評議員：有本、郷、佐藤、高橋、伊達、中原、廣田、宮沢、山崎、吉田評議員

出席監事：荒船、池田監事

出席理事：小林理事長、矢野常務理事

議事：①山崎評議員が評議員会会長（常任）に選任された。②平成 22 年度事業報告書および決算書が原案通り承認された。

(2) 理事会

1) 第 1 回

日時：平成 23 年 4 月 20 日 17:30~18:00

出席理事：秋光、江澤、小林、鈴木、田畑、仁科（雄）、西村、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

議事：①平成 22 年度事業報告書および決算書（案）が承認された。②運営諮問委員会委員長として梶田委員が、また助言委員会委員長として原委員が選任された。

2) 書面または電磁的記録による理事会決議（定款第 39 条第 2 項）

日時：平成 23 年 11 月 9 日

議事：①平成 23 年度仁科記念賞受賞者の選考委員会提案を承認した。

3) 第 2 回

日時：平成 24 年 2 月 28 日 11:00~12:00

出席理事：秋光、江澤、小林、鈴木、田畑、仁科（雄）、西村、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

議事：①平成 24 年度事業計画書および収支予算書が承認された。②特定資産を 300 万円取り崩すことを承認した。③仁科記念賞新選考委員および継続選考委員を選任した。

(3) 選考委員会

1) 選考小委員会

日時：平成 23 年 9 月 6 日 18:00~19:00

出席委員：藤川委員長、選考小委員

出席理事：小林、矢野理事

2) 第1回

日時：平成23年10月12日 17:00～21:00

出席委員：藤川委員長、選考委員

出席理事：小林、鈴木、矢野理事

3) 第2回

日時：平成23年11月2日 17:00～21:00

出席委員：藤川委員長、選考委員

出席理事：小林、鈴木、矢野理事

議題；①平成23年度仁科記念賞受賞者の選考委員会提案を決定した。

(4) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第1回

日時：平成23年4月20日 18:00～20:00

出席委員：安藤、家、江口、梶田、永宮、仁科（浩）、早野、藤川委員

出席理事：秋光、江澤、小林、鈴木、田畑、仁科（雄）、西村、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

議題：①第1回評議員会に諮る平成22年度事業報告および決算書について②今年度仁科記念賞選考スケジュールについて③今年度の定例仁科講演会、シンポジウム等の企画は早野委員と家委員が担当。④ホームページは早野委員が担当する。⑤アジア若手研究奨励賞（仮称）の企画について⑥本会議・委員会は毎月1回（但し、7月、8月は休会）水曜日に開催する。

2) 第2回

日時：平成23年5月25日 18:00～19:50

出席委員：安藤、家、梶田、永宮、仁科（浩）、早野委員

出席理事：小林、鈴木、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

オブザーバー：山崎評議員

議題：①今年度「仁科記念講演会」開催企画の進捗状況について②今年度「仁科記念賞候補者」推薦依頼・公募について③HPの進捗状況について④財団・RI協会・理研共催定例講演会「アイソトープ科学の最前線」の開催企画について

3) 第3回

日時：平成23年6月22日 17:30～19:30

出席委員：安藤、家、梶田、永宮、仁科（浩）、早野委員

出席理事：小林、鈴木、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

オブザーバー：山崎評議員

議題：①今年度「仁科記念講演会」開催企画の進捗状況について②財団・RI協会・理研共催定例講演会「アイソトープ科学の最前線」の開催企画について

4) 第4回

日時：平成23年10月24日 17:30～19:30

出席委員：安藤、家、梶田、永宮、仁科（浩）、早野委員

出席理事：小林、鈴木、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

オブザーバー：山崎評議員

議題：①財団・RI協会・理研共催定例講演会「アイソトープ科学の最前線」の開催企画について②「諸般の理由で昨年度から研究者の海外派遣、招聘ともに公募を見送ることにいたしました。あしからず、ご了承ください。」という案内をHPに掲示することとした。③「仁科記念財団アジア若手研究奨励賞（仮称）」の創設に向けて、梶田委員長、家委員、江口委員、永宮委員、早野委員で検討することとなった。

5) 第5回

日時：平成23年11月23日 17:30～19:30

出席委員：安藤、家、梶田、仁科（浩）委員

出席理事：小林、鈴木、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

オブザーバー：山崎評議員

議題：①仁科記念賞選考理事会決議の改善について②「仁科記念財団アジア若手研究奨励賞（仮称）」の創設の検討状況

6) 第6回

日時：平成23年12月26日 17:00～18:00

出席委員：安藤、梶田、永宮、仁科（浩）、早野委員

出席理事：小林、鈴木、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

オブザーバー：山崎評議員

議題：①仁科記念賞選考理事会決議の改善について②「仁科記念財団アジア若手研究奨励賞（仮称）」の創設の検討状況

7) 第7回

日時：平成24年1月25日 17:30～19:30

出席委員：安藤、梶田、永宮、仁科（浩）、早野委員

出席理事：小林、鈴木、田畑、西村、矢野、山田理事

出席監事：池田監事

オブザーバー：山崎評議員

議題：①第2回理事会に諮る来年度事業計画および収支予算について②「Nishina

Asia Award (or Lecture)」の創設の検討状況

8) 第8回

日時：平成24年3月14日 17:30～19:30

出席委員：安藤、梶田、永宮、仁科（浩）、早野委員

出席理事：小林、鈴木、田畑、西村、矢野、山田理事

出席監事：池田監事

オブザーバー：山崎評議員

議題：①「Nishina Asia Award (or Lecture)」の創設の検討状況②2012年度仁科
記念講演会「宇宙線発見100周年」の企画について